クショップ「小平市まちづく

まちづくり懇談会」やワー

の基本構想を定めるもので、 計画的な行政運営を図るため

市における総合的、かつ、

会」等の開催による意見収集 り会議」の実施、「子ども議

のほか、基本構想審議会で約

活・文化」から「地方自治・ 目標にして、「地域・安全・生 進化するまち こだいら」を 章では、「躍動をかたちに 3つの基本理念を示し、第2

行財政」までの5つの各分野

に将来都市像を設定していま

可決・同意し 、提案説明の要旨等は、次のとおりです。)

公民館条例及び図書館条 例の一部改正

年10月から、祝日開館(元旦を 式に開館するために条例改正を 行うものです。 除く)を試行的に実施してきま したが、本年10月1日以降、正 利用者の利便を図るため、昨

9時から午後10時まで開館しま 館を午前10時から午後5時まで 間帯のみ開館) 館は、施設の利用予約がある時 に限りますが、11館全館を午前 図書館は、分室を除く8館全 (小川公民館ほか5つの分

と毎週金曜日は、従来から休館 開館します。なお、第3木曜日

日となっていましたが、第3木

公民館は施設の貸し出し業務 これに伴って市債の発行抑制が 策債を減額するものです。 可能となったので、臨時財政対 め前年度繰越金の増額を行い、 一小学校学童クラブ建設、及び 歳出では、福祉会館改修、第

増額するものです。 在進めている福祉会館のアスベ 計委託費等を計上したほか、現 第五小学校の増築に向けての設 スト除去工事等に伴い予備費を 補正額は、歳入歳出をそれぞ

曜日が祝日と重なった場合は開 平成16年度事業費が確定したた 館日とし、金曜日が祝日と重な った場合は休館日とします。 平成17年度一般会計補正 予算 (第2号) 主なものとして、歳入では、

鉄筋コンクリート造で、建築面

島村速雄議員

工事内容は、地上2階建て、

の請負契約を締結するものです。 児童館建設工事(建築工事)の

小川町二丁目地域センター・

同

意

72万5千円です。

のとおりです

医療費の増加と保険税収入の伸

び悩み傾向が続き、厳しい財政

給付費は前年度に比べ増となり、

各議案の提案説明の要旨は次

で、契約金額は、1億9千3百 42平方景の建物を建築するもの 積41・10平方以、延べ床面積78・

員の任命、及び固定資産評価審 小平市教育委員会委員 意を求める議案に同意しました。 査委員会委員の選任について同 任期満了に伴う教育委員会委

小平市固定資産評価審査委員会 伊藤文代(いとうふみよ)氏

なお、具体的な施策は、こ

むね19万2千人と想定したほ 小山喜彬(こやまきよし)

政力」の「3つのちから」を な「地域力」「民活力」「行 の基本構想実現のために必要 実現するために」として、こ 示しています。

各分野の将来都市像を実現す 方等を示しています。 か、土地利用の基本的な考え しています。 それぞれの施策の方向性を示 るために必要な施策の体系や、 第4章では、「基本構想を 第3章では、5つにわたる

お)」、「いい郷 (さと)」、

第1章では、「いい表情(か

「いい明日 (あした)」という

の基本構想をもとにして、平 成27年度までの前期基本計画 や3か年の実施計画の中で示

は、今後、市の新たな羅針盤 としての役割を果たします。

経て答申をいただいているも

−年間にわたる慎重な審議を

のです。この新しい基本構想

す。また、この基本構想の目

とし、その年次の人口をおお 標年次を15年後の平成32年度

> れ3億9千1万1千円増額し、 補正後の予算総額は4百93億6 干9万5千円となります。 議

築工事)請負契約の締結 小川町二丁目地域センタ ー・児童館建設工事(建 小平市国民健康保険運営協議会

島村速雄議員(総務委員長) 桜田 誠議員 斉藤 進議員 (厚生委員長)

小平市住居表示整備審議会委員 加藤俊彦議員 住田景子議員 佐藤 充議員

会 人 事

めに議会に提案します。 定価格が2千万円以上となるた 3台を購入するもので、購入予 び第八分団の消防ポンプ自動車 消防団第二分団、第六分団及

用として使用し、キャブオーバ 車として必要な装備を施してい **-型トラックに消防ポンプ自動** の購入の購入プ自動車 なお、この車両は、消防活動

買いかえを行う第八分団消防ポンプ自動車

10月11日から14日まで

的かつ効率的に対応する予算と 全化を推進しつつ、課題に効果 保を重点課題ととらえ、財政健

市民の安全・安心・活力の確

運営となりました。

【老人保健特別会計】

受給者数は約1万6千7百人

事務事業の見直しも行いました。

歳入では、市税が7年ぶりの

げなどの影響により、前年度に 改正による受給対象年齢引き上 百8億1千4百45万円で、制度

比べ 2・4%の減となりました。

る

【介護保険事業特別会計】

す

行財政改革推進プランに沿って 位置づけました。また、第3次

> で約6万5千円でした。医療費は で、1人当たりの医療費は年間

平成16年度一般会計、及び特別 これらの議案を付託しました。 会計決算の認定議案が提出され ■一般会計決算特別委員会 たため、特別委員会を設置し、 定例会最終日には、市長から ◎=委員長 ○=副委員長

り効率的、重点的に配分し、多

節減に努め、限られた財源をよ

様な財政需要にこたえるように

努めました。具体的な施策では、

花小金井駅北口地区の都市基盤

整備事業等の実施、小・中学校

財政健全化を基本に据えて経費

地方交付税は減となりました。 増収となり、それを反映して

歳出は、前年度に引き続き、

こだいら21世紀構想

第三次長期総合計画基本構想

を定めることについて

◎桜田 住田 斉藤 永田 木村まゆみ 岩本 博子 政弘 景子 進 誠 ○佐藤 立花 佐野 鴨打喜久男 小林 秀雄 久隆 世 郁夫 みました。なお、財政構造の弾 援センターなどの事業に取り組 の耐震補強工事、子ども家庭支

◎苗村 浅倉 勇 ○高橋 俊彦 速雄

は12月定例会初日に行います。

なお、これら議案の審査報告

に税率改定を行いました。保険

■特別会計決算特別委員会 三男 化に向けた取り組みや財政体質 債費比率はともに前年度より増 比率と、財政の健全性を示す公 力性を示す指標である経常収支 の改善等に努力します。 加しましたが、今後も財政健全 [国民健康保険事業特別会計]

計から巨額の繰り入れを行い、 医療保険分については6年ぶり 財源不足を補うために一般会

> 円で、前年度に比べ約8・5% 保険給付費も60億7千4百9万 5・5%増加しました。また、 の増となりました。 定者は4千3百8人となり約 べ約3・4%の増、要介護等認 は3万9百16人で、前年度に比 第1号被保険者(65歳以上)

> > 案に対

等が主な事業で、公共下水道雨 を計画的に進めました。 水整備事業では、石神井幹線等 【受託水道事業特別会計】 【下水道事業特別会計】 水道施設の拡充、既存施設の 下水道管渠に係る維持・建設

整備等を図り、施設の安全性、 管新設工事等を実施しました。 効率性の向上に努めました。主 な事業は都の受託事業で、配水

各会派の

9月定例会		○:賛成 ×:反対		()内は各会派の議員数			※政和会の会派所属議員数は議長を除く数			
議案番号	件名		政和 (6人)	公明 (6人)	緑ネ (5人)	共産 (4人)	フォ (3人)	民リ (1人)	議決結	果
第62号	専決処分(平成17年度小平市一般会計補正予算(第1号)))	0	0	0	0	0	0	承	認
第63号	専決処分(平成17年度小平市下水道事業特別会計補正予算	[(第1号))	0	0	0	0	0	0	承	認
第64号	小平市教育委員会委員の任命同意		0	0	0	0	0	0	同	意
第65号	小平市固定資産評価審査委員会委員の選任同意		0	0	0	0	0	0	同	意
第66号	平成17年度小平市一般会計補正予算(第2号)		0	0	0	0	0	0	原案可	決
第67号	平成17年度小平市国民健康保険事業特別会計補正予算(第	[1号]	0	0	0	0	0	0	原案可	決
第68号	平成17年度小平市介護保険事業特別会計補正予算(第1号	 	0	0	0	0	0	0	原案可	決
第69号	平成17年度小平市下水道事業特別会計補正予算(第2号)		0	0	0	0	0	0	原案可	決
第70号	小平市立公民館条例及び小平市立図書館条例の一部を改正	する条例	0	0	0	0	0	0	原案可	決
第71号	東京市町村総合事務組合規約の変更		0	0	0	0	0	0	原案可	決
第72号	小平市立小川町二丁目地域センター・児童館建設工事(建	禁工事)請負契約の締結	0	0	0	0	0	0	原案可	決
第73号	小平市消防団消防ポンプ自動車の購入		0	0	0	0	0	0	原案可	決
第74~83号	市道路線の認定及び廃止(8路線の認定、2路線の廃止)		0	0	0	0	0	0	原案可	決
第84号	こだいら21世紀構想一小平市第三次長期総合計画基本構想	一を定めること	0	0	0	0	0	0	原案可	決

政和:政和会 公明:市議会公明党 緑ネ:緑・ネット 共産:日本共産党小平市議団 フォ:フォーラム小平 民リ:民主リベラル 会派名略称